

姫路バスケットボール協会 帯同審判講習会資料



重要な用語

審判の動きの4原則

BOXING-IN (Primary, Big Picture Mentality)

ALWAYS MOVING (Position Adjust)

SPACE-WATCHING (Referee Defense)

PENETRATION (Position adjust)

重要な用語

審判の動きの4原則

BOXING-IN

10人のプレイヤーをつねに自分と相手審判の視野の中に入れておく

ALWAYS MOVING

絶えずよい角度(アングル)と視野を求めて位置を変える

SPACE-WATCHING

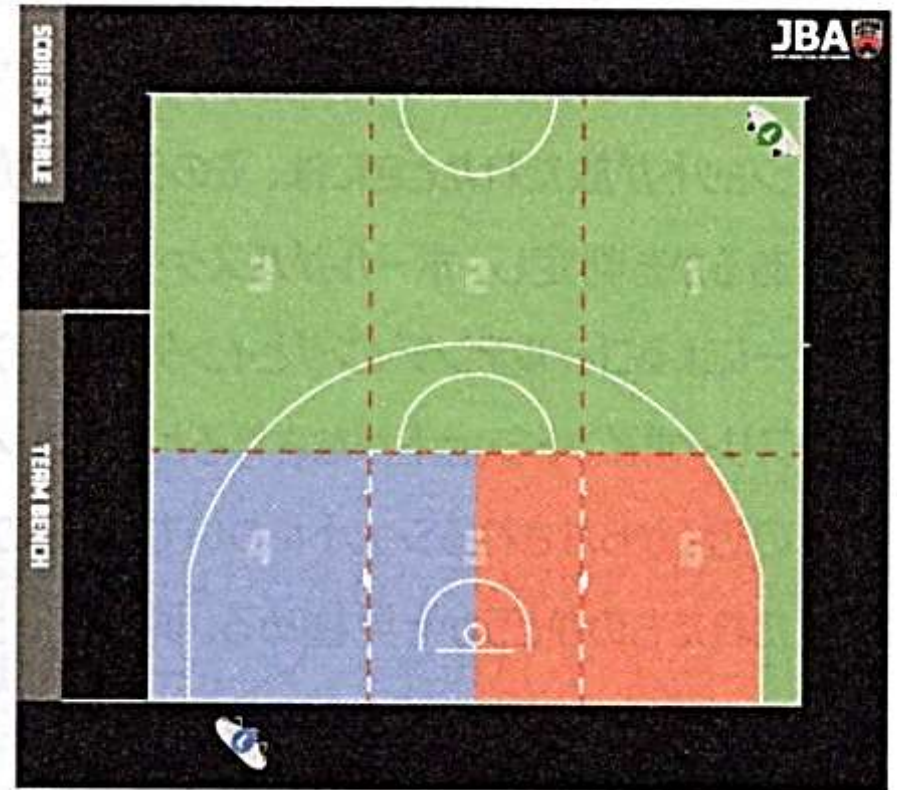
からだの触れ合いが起こっているかいないかを判断する

PENETRATION

バスケットに向かって踏み込んでそのプレイを確認する

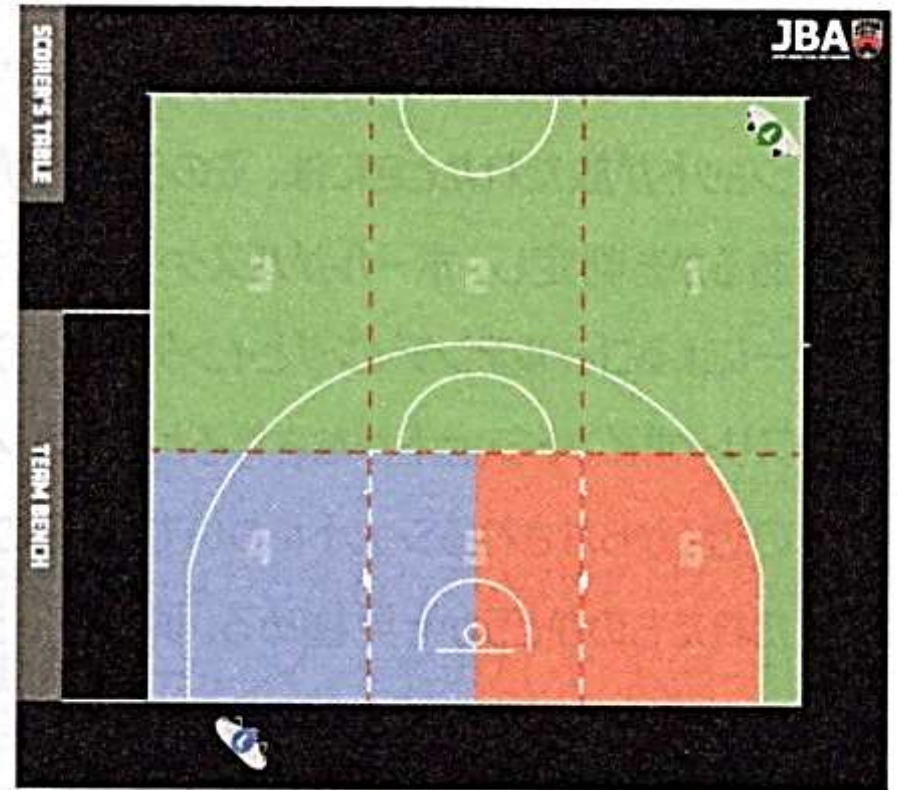
2POのフロアカバレッジ (位置取りと責任範囲)

- 両審判は、コート上の10人のプレイヤーがどこにいるのかを常に把握するために、コート上の広い範囲に絶えず目を配る努力をしなければならない。



2POのフロアカバレッジ (位置取りと責任範囲)

- 審判は、一方の審判がボールとその周辺の音ボールのプレーを、相手審判はボールのないところのオフボールのプレーに対して責任を持って見る。



トレイルの基本的な任務

- プレーがバックコートからフロントコートへ進行していくとき、通常ボールの左側の少し後ろで、ボールから3～5mほど離れて追従していく。
- ショットが放たれたときには、そのショットが2点か3点かを判定し、バスケットに入ったか入らなかったかを確認する。
- 自分の左側のサイドラインに責任を持ち、ボールがアウトオブバウンズになったときにはどちらのチームのスローインになるかをはっきり示す。

トレイルの基本的な任務

- 各クォーター、各オーバータイムの競技時間の終わりや24秒の終わり近くにショットが放たれたとき、それらのブザーが鳴ったときボールがシューターの手から離れていたかの判定を下す。
- 8秒ルールの8秒が継続されるときには、バックコートのアウトオブバウンズから行われるスローインのときに、残りの秒数を両チームのプレイヤーに知らせる。

リードの基本的な任務

- リードオフィシャルは、いつでもコート上を進行するプレーよりも先行していなければならない。
- エンドラインにいるときには、原則として自分の左側のサイドラインとミッドラインの右側のスリーポイントラインの内側までの位置をワーキングエリアとする。

リードの基本的な任務

- リードオフィシャルは、いつでもコート上を進行するプレーよりも先行していなければならない。
- エンドラインにいるときには、原則として自分の左側のサイドラインとミッドラインの右側のスリーポイントラインの内側までの位置をワーキングエリアとする。
- ボールがトレイルオフィシャルのプライマリにあるときに、ボールのないところのプレーをレフェリーする。

リードの基本的な任務

- スクリーンプレーをレフェリーする。
- ポストプレー、ピボットプレーをレフェリーする。
- ゴール下のプレーをレフェリーする。
- 制限区域内のプレーをレフェリーする。

ボールがエリア1にあるとき



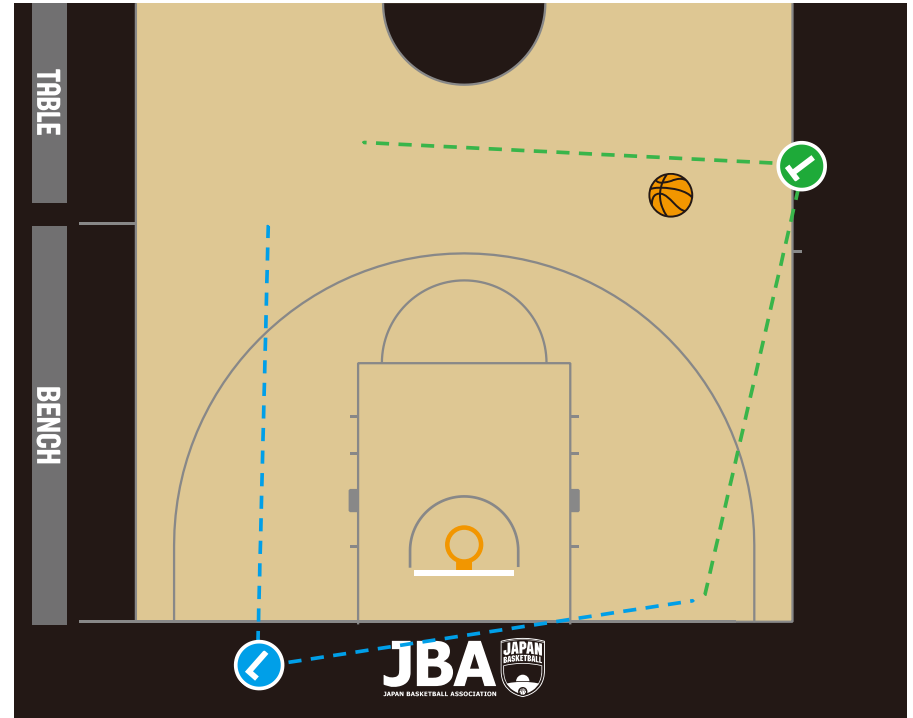
ボールがエリア1にあるとき

- トレイル

ボールとその周辺のプレーに対して責任を持って見る。

- リード

トレイルがカバーできていないオフボールのプレーに対して責任を持って見る。



ボールがエリア2にあるとき



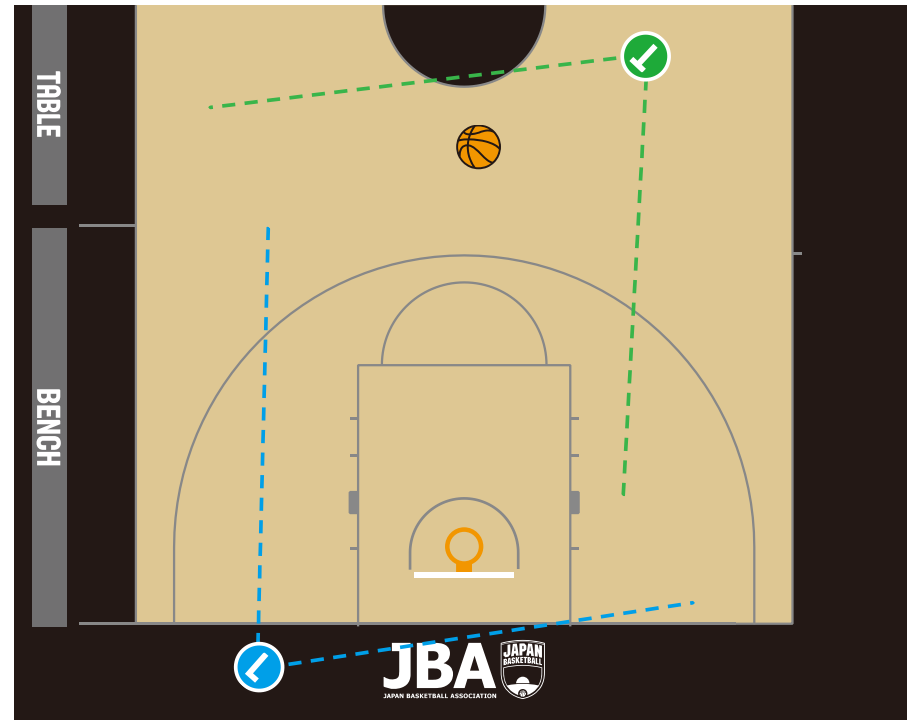
ボールがエリア2にあるとき

●トレイル

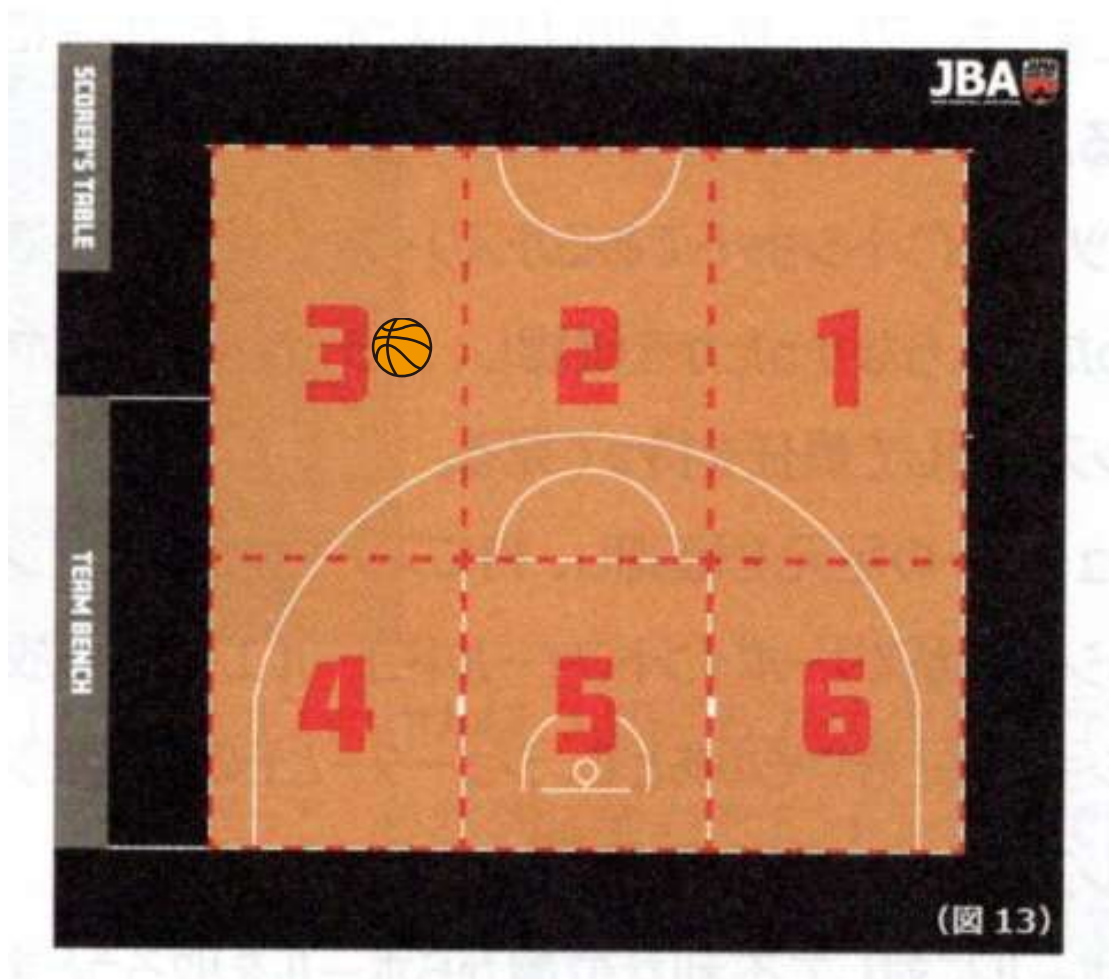
ボールとその周辺のプレーに対して責任を持って見る。

●リード

トレイルがカバーできていないオフボールのプレーに対して責任を持って見る。



ボールがエリア3にあるとき



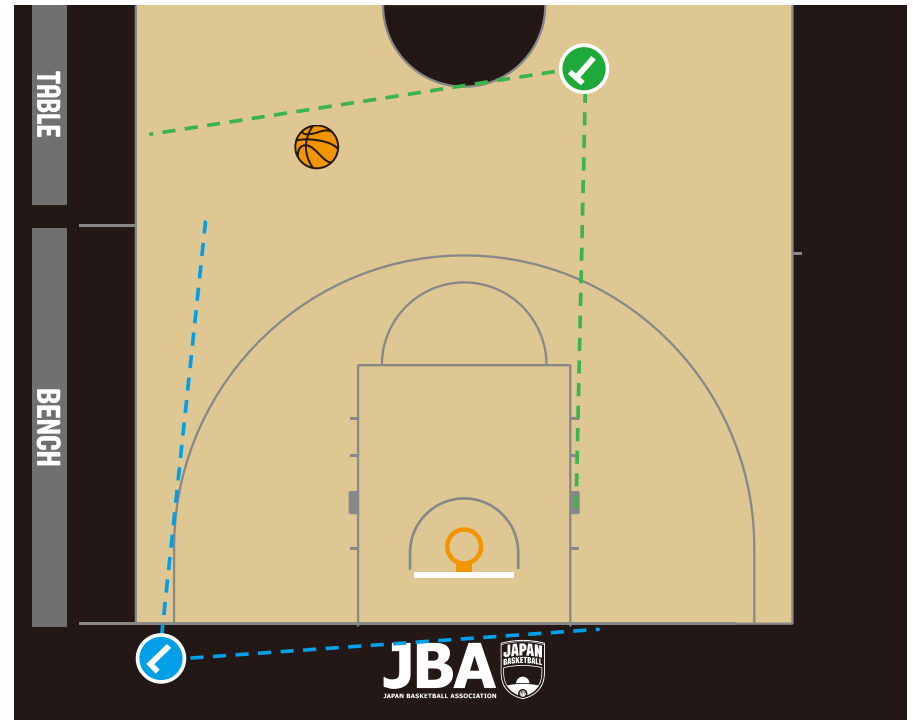
ボールがエリア3にあるとき

●トレイル

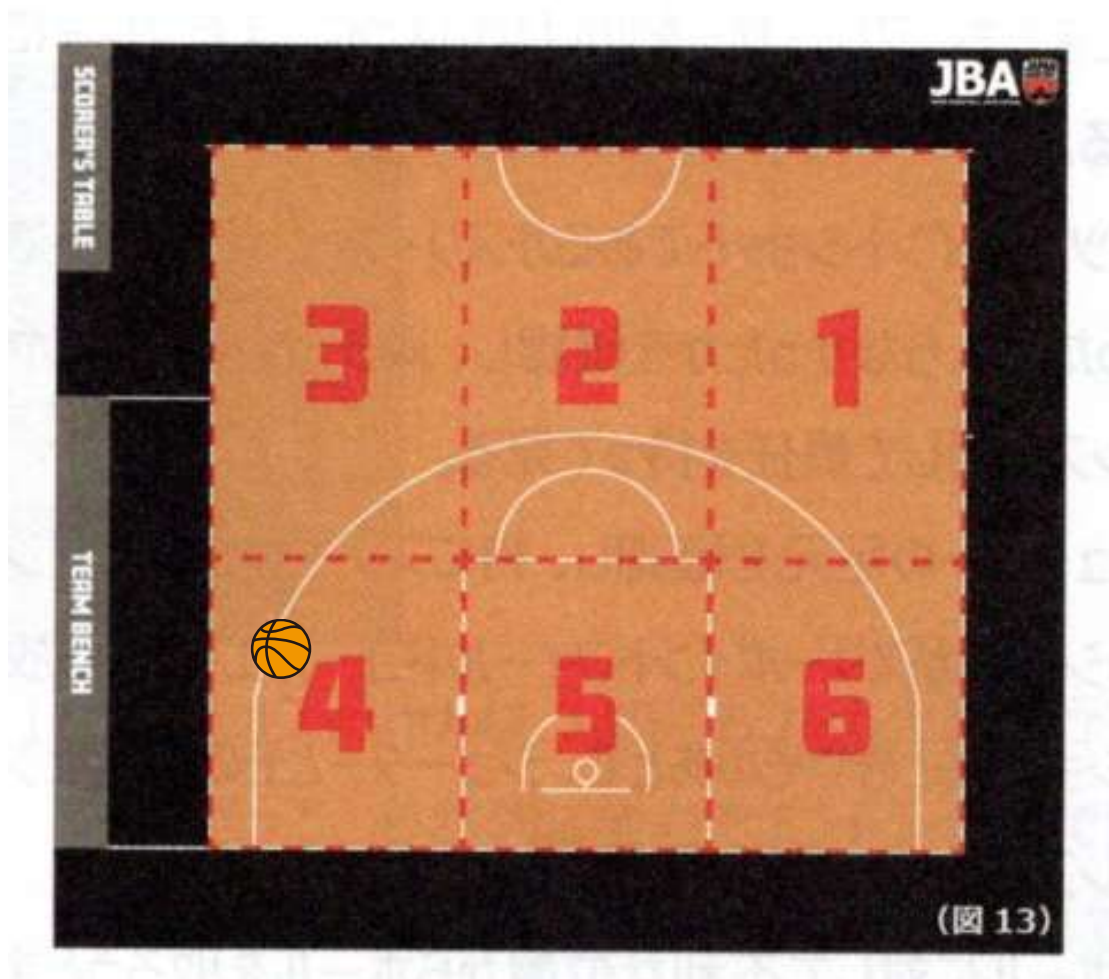
ボールとその周辺のプレーに対して責任を持って見る。

●リード

トレイルがカバーできていないオフボールのプレーに対して責任を持って見る。



ボールがエリア4にあるとき



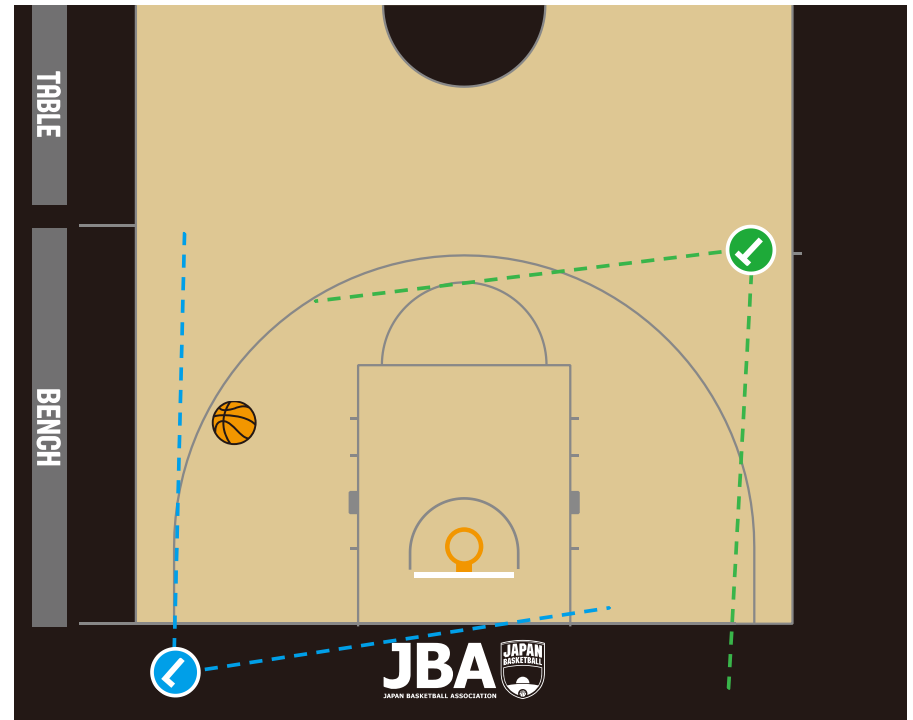
ボールがエリア4にあるとき

●トレイル

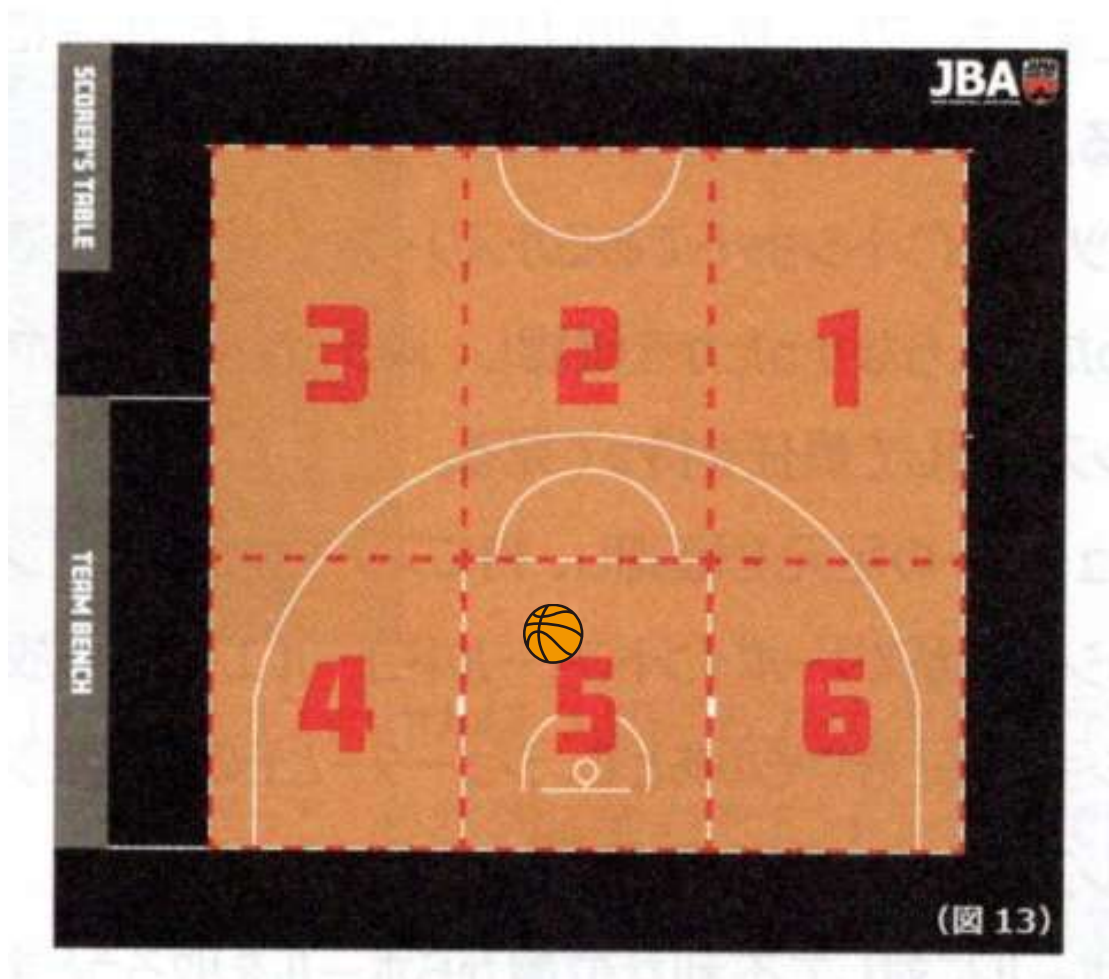
ボールのないところのプレーに対して責任を持って見る。

●リード

アウトサイドインを基本として、ボールとその周辺のプレーに対して責任を持って見る。



ボールがエリア5にあるとき



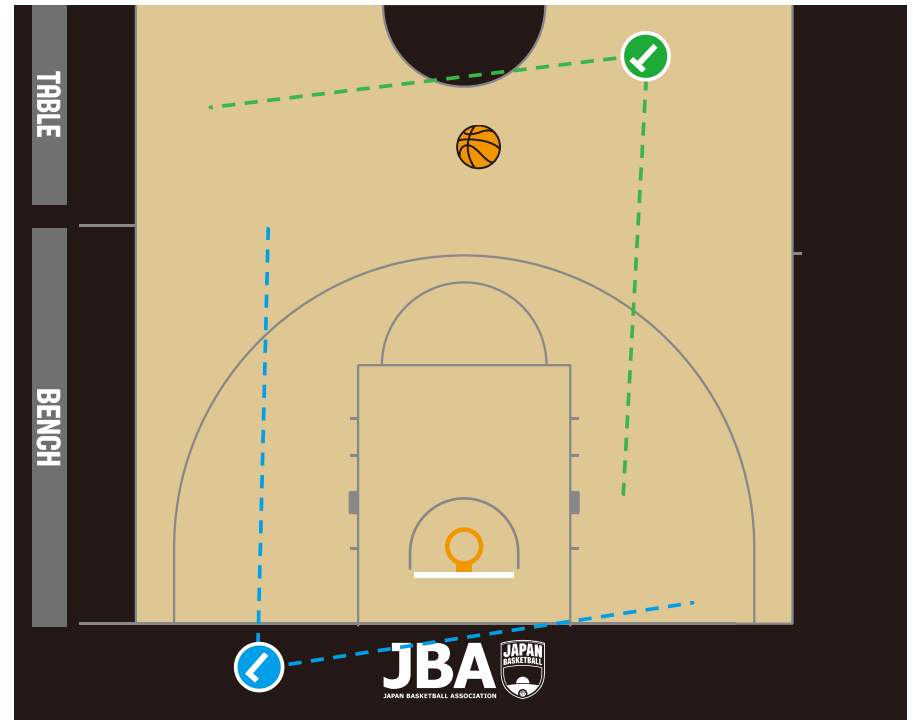
ボールがエリア5にあるとき

●トレイル

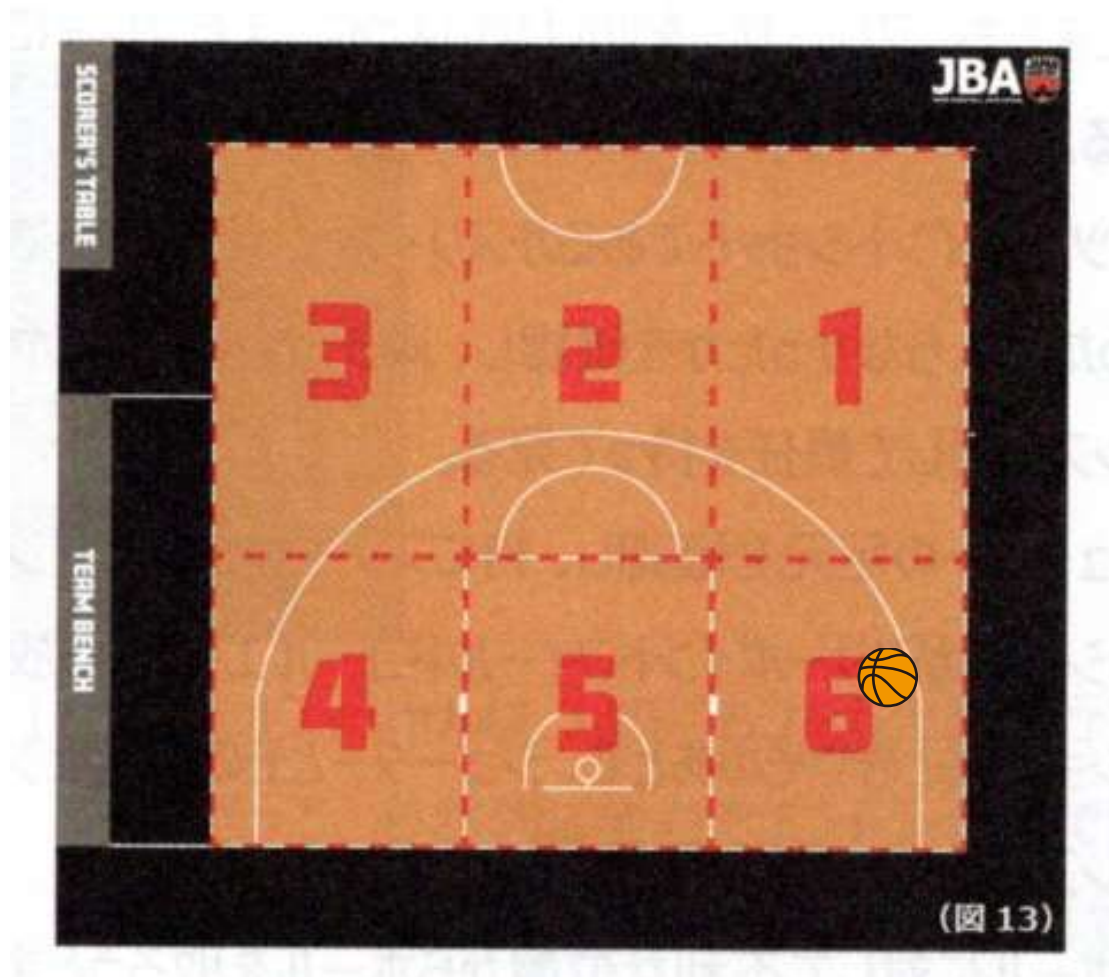
両審判がボールとその周辺のプレー、特にショットについて見ておかなければならない。

●リード

アウトサイドインを基本として、ボールとその周辺のプレーを見ることに集中する。



ボールがエリア6にあるとき



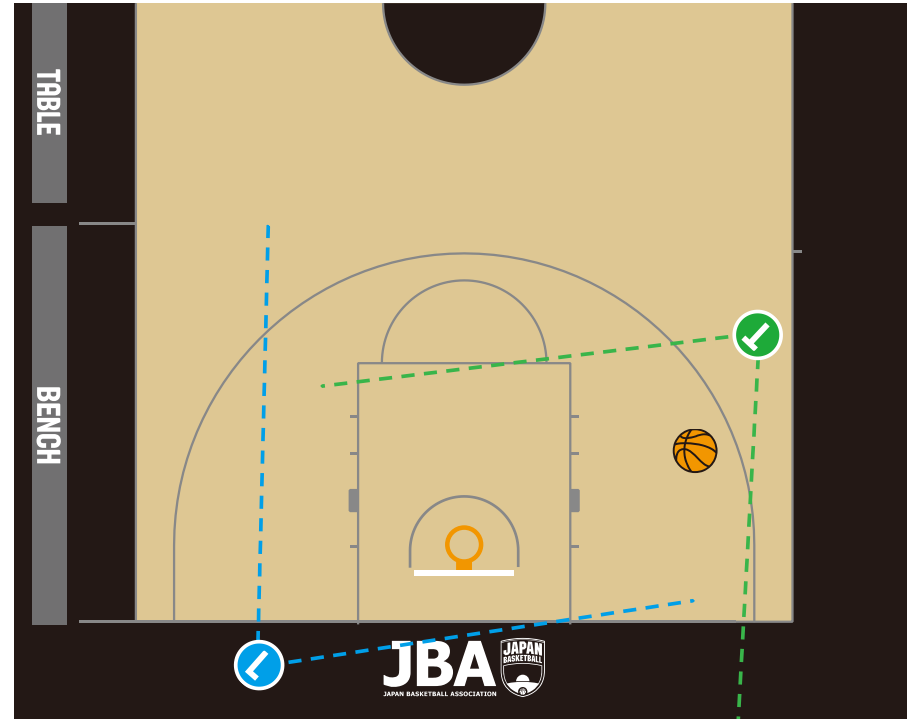
ボールがエリア6にあるとき

- トレイル

ボールとその周辺のプレーに対して責任を持って見る。

- リード

右側にアクティブなマッチアップが原則2ペア以下のときにはは、ボールのないところのプレーに対して責任を持って見る。



帯同審判として、
ご協力よろしくお願ひします。

